

編集後記

本号には、国際会計研究学会第10回西日本部会（2019年7月27日、九州大学）、第36回研究大会（2019年8月30日から9月1日、法政大学）、第10回東日本部会（2019年11月9日、明海大学）で発表された報告のうち、統一論題の応募論文10篇、自由論題の応募論文（査読論文）3篇、韓国セッション報告2篇、基調報告論文1篇、そして研究グループ「いま、フランス会計を研究する意義—1673年商事王令から1982年Plan Comptableまで歴史の変遷—」（主査：吉岡正道）の中間報告と研究グループ「IFRSの強制適用に関する国際比較研究」（主査：中野貴之）の最終報告が掲載されている。上記の査読論文3篇は、自由論題の応募論文から厳正なる査読を経て採択され、掲載された。その他に自由論題の応募論文が1篇あったが採択されなかった。統一論題の応募論文、韓国セッション報告論文、および基調報告論文は査読を経ずに掲載している。なお、西日本部会・統一論題は応募論文がなかった。

本号の発刊にあたり、査読を快く引き受けていただいた会員の先生方及び編集委員の先生方には、学会の発展のために多大のご貢献をいただいた。また、編集委員会幹事の小形健介先生（大阪市立大学）には、編集作業すべてにわたり委員長を補佐し、発刊までこぎつけていただいた。これら諸先生のご貢献なくしては無事発刊できなかつたことであろう。ここに、深い謝意を表したい。

編集委員長 柴 健次

編集委員会

委員長 柴 健次

委員 井上 達男 川村 義則 向 伊知郎 米山 正樹

幹事 小形 健介
